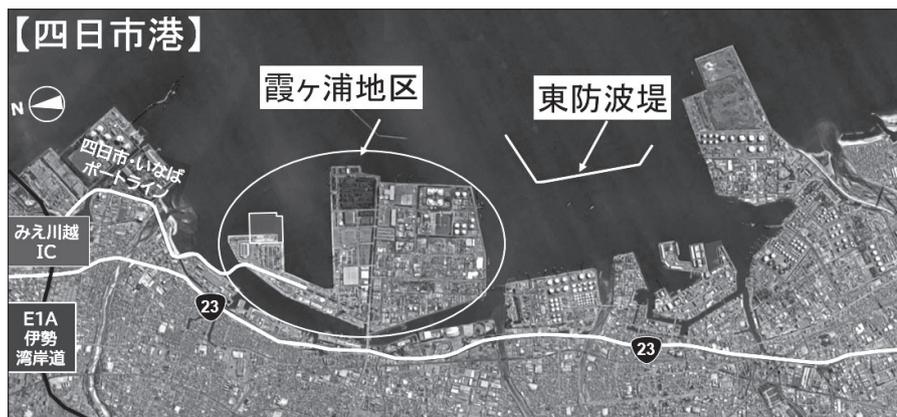


## 地域産業を支える四日市港港湾整備と 安全・安心を確保する津松阪港海岸整備

国土交通省 中部地方整備局  
四日市港湾事務所 所長 堀池 昌生



### 1. はじめに

四日市港では、東海環状自動車道等の道路整備進展による背後圏からのアクセス性向上を受けた貨物量の増加が見込まれており、これに対応するため港湾物流機能の一層の強化が求められています。また津松阪港では、現状の海岸堤防が整備後約半世紀を経て著しく老朽化しており、安全・安心の確保に向けた対応が求められて

います。これらの課題対応に向けて四日市港湾事務所で実施中の事業について紹介します。

### 2. 主な事業の概要

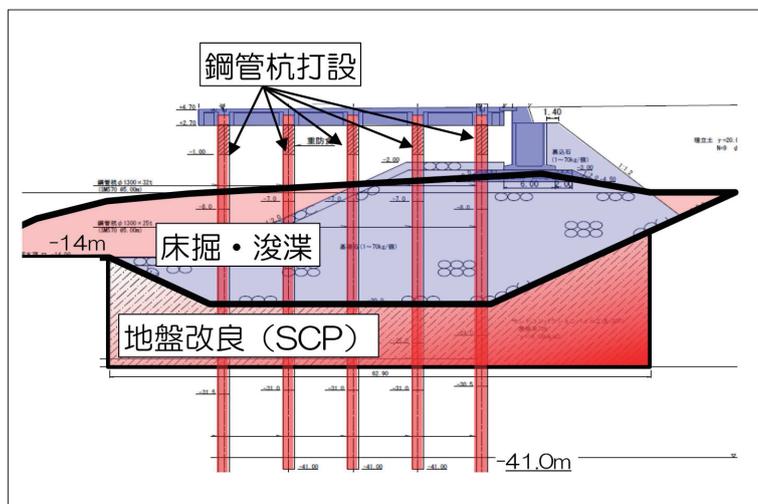
#### (1) 四日市港 霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深 14m の岸壁 (W80) を有する霞ヶ浦地区北ふ頭のコンテ

ナ利用が増加していることから、令和 3 年度より水深 14m の耐震強化岸壁 (W81) を核とする新たな物流ターミナルの整備に着手しました。岸壁 (W81) の完成後は、それまで南ふ頭でも一部担っていたコンテナ取扱を北ふ頭に集約するとともに、同じく増加傾向にある完成自動車の取扱いを南ふ頭で強化する“霞ヶ浦地区の機能再編”により、港全体の港湾物流機能の向上に取り組んでいきます。

令和 5 年度は岸壁部の地盤改良 (SCP)、床掘及び鋼管杭の打設を行います。

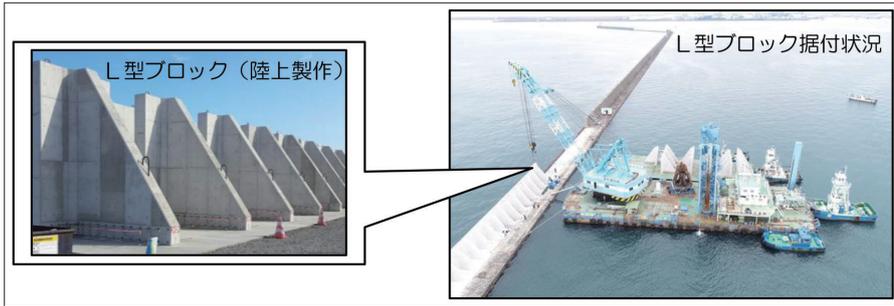
なお、本事業におけるコスト削減の取り組みの一環として、近隣の鈴鹿川で実施中の河道掘削工事 (三重河川国道事務所施工) で生じた土砂の供給を受け、SCP (四日市港湾事務所施



岸壁 (W81) 断面図



岸壁 (W81) 整備後の霞ヶ浦地区機能配置



東防波堤（改良）施工状況

工)の砂材及び背後ふ頭用地造成(港湾管理者施工)の埋立材として活用しています。

## (2) 四日市港 東防波堤改良事業

東防波堤については、完成後約半世紀が経過し、老朽化に伴う機能の低下が懸念されることから、平成27年度より改良工事を行っています。令和5年度は、老朽化が著しい上部工のパラペット(L型ブロック)を取り壊し、新たに陸上製作したL型ブロックを据え付ける作業を実施します。

## (3) 津松阪港 海岸保全施設整備事業

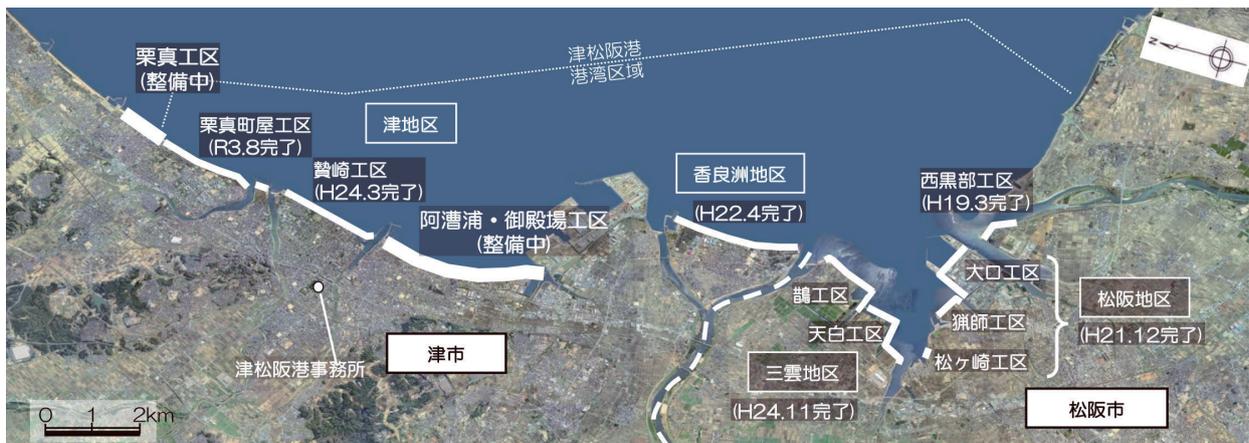
津松阪港海岸では、昭和28年の台風13号や昭和34年の伊勢湾台風による甚大な被害を受け、災害復旧事業(昭和28~38年)により海岸堤防が整備されましたが、約半世紀が経過する中で老朽化・沈下が見られ、加えて液状化の可能性も確認されたことから、平成4年度より海岸堤防17.8kmを対象とした抜本的な改良事業を実施してきました。

松阪市側については平成24年度に全工区の整備が完了し、津市側についても残る栗真工区、阿漕浦・御殿場工区の今年度未完了をもって、足掛け30年以上にわたり実施してきた本事業が全て完了することとなります。

整備にあたっては、完成後の海岸利活用を重視し、住民参加によるワークショップを開催する等、地元の意見・要望を反映した上で施工してきました。整備が完了した地区においては、背後地域の浸水リスク低減を受けて宅地開発が行われる等、地域の活性化が進展しています。

## 3. おわりに

今後も、三重県内をはじめ中部の地域産業を支え、地域の安全・安心の確保に取り組んでまいります。引き続き関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



津松阪港海岸 事業箇所



栗真工区整備状況



阿漕浦・御殿場工区整備状況